



写真：大型ショッピングセンター北の横断歩道

県道大町明科線 横断歩行者への 安全対策を！ 町へ要望しました

去る1月27日に県道大町明科線の横断歩道を横断中の男性が車にをはねられる事故が発生しました。

この地点から約500m北に大型ショッピングセンターが6月開店の予定で、町民の方から県道横断歩行者の安全対策を町に求めたいとの声が寄せられました。

早速、声を上げていただいた方と相談し、要望書を作成し、2月2日、服部町議とともに町に安全対策を申し込みました。

県道大町明科線は車の交通量が増えており横断歩道での事故も心配されます。早期の対策が必要です。

～大型ショッピングセンター開店にともなう県道大町明科線横断歩行者への安全対策についての町への要望事項～

1. 大型ショッピングセンター前の横断歩道には「押しボタン式信号機」を付けていただくよう関係機関に働きかけていただきたいこと。また、信号機には横断旗を設置していただきたいこと。
2. 大型ショッピングセンターの敷地内に町営バス循環線のバス停を設置していただきたいこと。

ガイドマスターの 冬季研修会で 「泉小太郎」の 話をしました

1月24日、池田町ガイドマスター会主催の冬季研修会で「泉小太郎伝説を探る」と題して同じ会員の宮沢洋介さんと話をしました。

今年から会員増を目的に町民の皆さまにも聞いていただくよう公民館で昼間行うことになりました。

私は、「泉小太郎伝説」の概要と十日市場の川會神社との関係の坂本博著「信濃安曇族の謎を追う」の話を紹介しながら約1時間話をしました。

宮沢洋介さんは、小太郎伝説の湖ができる可能性について地質的な観点から話をしました。寒いなか、約40名の方が参加してください、泉小太郎伝説について交流を深めることができました。



写真：ガイドマスターの冬季研修会で話しをする私

町議会視察研修で 福井県小浜市の 「食の町づくり」 を見学しました

今後様々なテーマで研修会を開き、町民の皆さまに聞いていただき、ガイドマスターの会員増につながればと思います。

1月26日・27日と平成28年度町議会先進地視察研修で福井県小浜市へ行って来ました。

小浜市は古代から朝廷へ海の幸を献上する御食国（みけつくに）の中心地でした。

先代の市長はこの伝統を活かした「食のまちづくり」を市行政の中心にすえました。その観点から市の環境保全、産業振興、福祉・健康の増進、教育、観光・交流、安全な食の提供を進める6つの施策を展開し、市長が変わっても継続的に行えるように「食のまちづくり条例」を制定しました。

市はその拠点施設として「御食国若狭おばま

食の文化館」を平成15年に開館しました。文化館は日本の食育が学べる施設として設計されたっており、見ごたえのある立派な施設でした。また、先代市長の考えを理解して、「食の町づくり」を進めている市職員の姿勢にも感心しました。

研修結果を「池田町食育推進基本条例」の制定に向け活かしたいかなければと思いましたが。



明治期の芝居小屋を復元した「旭座」・・・町なかの誘客施設として小浜市が設置、市民が落語などを楽しみ、観光客も呼べる。



「織田信長が徳川家康をもてなした食事」を見学する議員（御食国若狭おばま食の文化館にて）